

平成29年度文化庁日本語教育大会

第3分科会

ライフステージに応じた日本語学習を支援するには
～成人の学びのあり方を考える～

報告者：

①安場淳

(公益財団法人中国残留孤児援護基金 中国帰国者支援・交流センター)

②小瀧雅子 (公益財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部・
公益社団法人国際日本語普及協会 **AJALT**)

③富岡拓也 (株式会社 ラーンズ)


ファシリテーター： 松尾慎 (東京女子大学)

- 以下のスライドに関し、大会当日は、活動の様子など写真を貼り付けて紹介しましたが、Webの公開に際し、個人情報の保護の観点から削除しています。

分科会の流れ

- 13:30 開会
- 13:32~13:42 イン트로ダクション(10分)
- 13:42~14:42 3名の報告(20分×3)
(15分発表・4分の実事確認の質問)
- 14:42~14:50 参加者間でのシェア
- 14:50~15:20 全体での質疑応答・対話
- 15:20~15:30 クロージング

ファシリテーター 自己紹介

- 松尾 慎(まつお しん)
 - 海外での日本語教育
 - ブラジル、インドネシア、台湾、イラン
- 
- 東京女子大学教員
 - 日本語教員養成課程、留学生向け日本語授業、ゼミ
 - 日本国内での活動
 - 難民との日本語活動、ブラジル人の子どものためのポルトガル語学習

成人の学びのあり方を考える

学ぶのは誰か？

- 学習者だけではなく、学習支援者、教師など現場に関わっているすべての人々が学ぶ



- すべての参加者が相互に学ぶという前提

相互に何を学ぶのか

「学習者」と「支援者」で
学ぶ内容は異なるのか？

- 学習者・・・日本語や日本での生活の知識？
- 支援者・・・日本語の教え方？

相互に何を学ぶのか

- 社会の変革を目指した相互学習
 - 外国人住民と日本人住民とが、**対話**を通じて、関係を築きながら、地域社会の問題、地球規模での問題までを、「**相手とともに**」**学ぶ**というもの
(山田2002)

山田泉(2002).「第8章 地域社会と日本語教育」細川英雄(編).
『ことばと文化を結ぶ日本語教育』pp. 118-135. 凡人社.

松尾のスタンス

- 「教室」とは社会とつながる前の知識の獲得場所、準備をするだけの場所なのか？
- 「教室」での営為や活動そのものが社会における実践でありたい

- 現場そのものが 社会 であり、
- 相互に学び合う 実践とは？

松尾が関わる2つの実践

難民との日本語活動における実践

- 難民との日本語活動
- 社会参加のための日本語通信講座



難民との日本語活動の概要

- 設立：2014年6月
- 毎週日曜日の午前10時から正午まで
- 現在（2017年8月末）、140回実施
- 終了後、「ビルマ料理レストラン」で毎回振り返り

参加者

- ミャンマー出身参加者：毎回数名
- ファシリテーター：東京女子大学大学院修了生、大学院生、教員
- ビジター参加者：東京女子大学日本語教員養成課程受講学生、その他

ある回のグループ活動の具体例

- 現場そのものが 社会 であり、
- 相互に学び合う 実践とは？

ある回の活動の具体例

- 第二次世界大戦の際、
- 日本軍が泰緬鉄道(タイとビルマを結ぶ鉄道)を作った件に関するNHKニュースを素材にした活動
- News Web Easyの記事を利用

ワークシートより

- ※発表ではワークシートを貼り付けましたが、削除しました。

日本の戦争責任について

～ミャンマー出身参加者の振り返りより～

- ※ 発表では振り返り内容を紹介しましたが、削除しました。

社会参加のための日本語通信講座

- 文化庁からの委嘱
- 第三国定住難民が、定住先において継続的かつ自律的に日常生活を送る上で必要となる読み書き能力を習得するために開発されたもの。

- <http://www.nihongo-ews.jp/changeLog/detail?date=20170530>
- <http://www.rhq.gr.jp/japanese/know/man/162.htm>



社会参加のための日本語通信講座

- 現場そのものが 社会 であり、
- 相互に学び合う 実践とは？
- <http://www.nihongo-ews.jp/changeLog/detail?date=20170530>
- <http://www.rhq.gr.jp/japanese/know/man/162.htm>



ユニット
4

やってみよう!

しよくば お もんだい かんが
職場で起こる問題について考えよう!

あなたは、表のことを職場でみたり、聞いたりしたことがありますか。また、あなた自身は経験したことがありますか。あったら、チェック(✓)を書きましょう。

	みたり、聞いたりした	自分が経験した
<input checked="" type="checkbox"/> サービス残業	✓	✓
① サービス残業		
② セクシャルハラスメント		
③ パワーハラスメント		
④ いじめ		
⑤ 男女差別		
⑥ 外国人差別		

うえ
上のリストに、チェック(✓)があった場合、それについてどうしたらいいか、誰かと話し合
いましょう。

イントロダクション

- ここまでとします。